

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。

2009 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策 第1版 第4刷

No	該当箇所	誤	正
1	P.114 上から 1～3 行目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 文字の<英字>または<数字>からなる<英数字>の BNF $\langle \text{英数字} \rangle ::= \langle \text{英字} \rangle \langle \text{数字} \rangle$ 例. A, 5 ・ 1 文字以上の<英数字>からなる<英数字の並び>の BNF 	<ul style="list-style-type: none"> (a) 1 文字の<英字>または<数字>からなる<英数字>の BNF $\langle \text{英数字} \rangle ::= \langle \text{英字} \rangle \langle \text{数字} \rangle$ 例. A, 5 (b) 1 文字以上の<英数字>からなる<英数字の並び>の BNF
2	P.198 解答 上から 4 行目	キ：平均応答時間	キ：平均 処理 時間（平均 サー ビス時間） 裏面へ続く
3	P201 上から 2 行目	平均待ち数は、 $\rho / (1 - \rho) = 0.25 / (1 - 0.75) = 1/3$ です。	平均待ち数は、 $\rho / (1 - \rho) = 0.25 / (1 - \mathbf{0.25}) = 1/3$ です。
4	P.299 ポイントの確認 6.2 正規化 上から 2 行目	(2) 主キーが、複合キー（複合キーともいう）でなければ、関係データベースの表は少なくとも第何正規形ですか。	(2) 主キーが、複合キー（ 連結 キーともいう）でなければ、関係データベースの表は少なくとも第何正規形ですか。
5	P.307 上から 5, 8 行目 「A」を取る 上から 13 行目	(部課番号 INT PRAIMARY KEY, 上の例では、部課番号を主キー（PRAIMARY KEY）としています。～ (省略) ～さらに、主キーには値の重複を認めないという UNIQUE 制約も設定されます。	(部課番号 INT PRIMARY KEY, 上の例では、部課番号を主キー（PRIMARY KEY）としています。～ (省略) ～さらに、主キーには値の重複を認めないという UNIQUE 制約も設定されます。
6	P.311 下から 9 行目 部課名の“名”を取る	WHERE 部課 名 .部課番号 = 社員.部課番号) 副問合せの「部課 名 .部課番号 = 社員.部課番号」という～	WHERE 部課.部課番号 = 社員.部課番号) 副問合せの「部課.部課番号 = 社員.部課番号」という～

7	P.315 下から 14 行目	(非 NULL+UNIQUE),	(非 NULL+UNIQUE),
8	P.321 上から 13 行目	つまり, 商品表に行が 1 行以上ある場合, (ア)は商品表からすべての行が取り出されますし,	つまり, 商品表に行が 1 行以上ある場合, (ア)は 在庫表 からすべての行が取り出されますし,
9	P.322 問 6 解説 8 行目	～解答群の内容を見ると, (イ)は結合, (ウ)はグループ化, ～	～解答群の内容を見ると, (イ)は グループ化 , (ウ)は 結合 , ～
10	P.323 問 7 解説 3 行目	～(イ)グループ化, (エ)結合は条件を満たしません。～	～(ウ)グループ化, (エ)結合は条件を満たしません。～
11	P.358 上から 9 行目	～に置き換えると “01111100” となり	～に置き換えると “01111 000 ” となり
12	P.454 下から 7 行目	この性質を多相性や多相性 (ポリモルフィズム) と呼びます。	この性質を 多態性 や多相性 (ポリモルフィズム) と呼びます。

(株) アイテック 商品開発本部 教材制作グループ